

議会の動きをみなさまにお伝えします

# 加西市議会だより



加西市制50周年を前に  
市民会館文化ホールリニミュアル

## 絵画の競売を可決 (P8~10)

- 加西こども園の設置、職員の給与改定など12月の議案 (P8~9)
- 加西市議会の取り組み、市民との意見交換会 (P12~15)
- 市議会だより・第150号発行までの歩み (P16)

2

2017  
NO. 150

## 12月定例会

# 質疑・一般質問

12月9日、12日の本会議では、質疑5名、一般質問10名の議員が議案や市政全般にわたり活発な質問を行いました。(発言順に掲載)

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム(2月下旬掲載予定)にてご覧いただけます。



## 議案第75号 平成28年度加西市一般会計 補正予算(第3号)について

### 質疑



長田 謙一 議員  
(21 政会)

**問** 老人福祉費、介護ロボット導入促進事業に伴う地域介護拠点整備の増額(656万4,000円)の内容は。

**答** 国の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の活用で、市内の介護保険事業に係る高齢者施設において、介護従事者の負担軽減に資する介護ロボット等の導入に対して助成します。また、既存高齢者施設等の防犯対策の強化を促進するための非常警報装置や防犯カメラ設置について助成します。

**問** 保育所等業務効率化推進事業補助金(540万円)について。

**答** この補助金は保育業務のICT化と事故防止対策を目的に制度化された臨時的な補助金です。保育業務を支援する情報ソフトと、事故防止のためのカメラ設置に対して、私立の保育園に補助する事業であり、国が4分の3を補助します。

情報ソフトの活用によって、保育計画、保育日誌の作成、園児の登園管理等、各園の保育業務の大幅な効率化が図れます。

**問** 学校管理費(1億3,891万1,000円)による、加西中学校のプール移転整備の内容は。

**答** 現在49年が経過したプールは老朽化が進み、また、

校舎敷地より離れているため、移動や管理が不便な状態です。今回、国の補正予算による交付金を有効に活用して事業を進め、耐久性を考慮したステンレス製の25メートルプールを北校舎の北側に新設する予定です。

**問** オークタウン加西の改修内容(管理費7,000万円)について。

**答** 昭和61年の建設から30年が経過し老朽化が進んでいます。雨漏りや設備の使い勝手の悪さを解消するため、地方創生拠点整備交付金を有効に活用し、トイレの洋式化等を含む大幅な改修工事を予定しています。

#### ■その他の質問項目

- ・ 議案第74号
- ・ 議案第79号

# 議案第 74 号 財産（絵画）の処分について

質 疑



植田 通孝 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 白髪一雄画伯の絵画「タジカラ男」の処分について、お尋ねします。この絵画は、平成元年の新庁舎の完成に合わせて、市役所の雰囲気や文化の薫りが漂うミュージアム風にするために購入した数十点の絵画の内の一点で、力強い作品です。先般、サザビーズパリのオークションにおいて5億数千万円で落札された絵画「激動する赤」（1969年作）と同じ年に描かれたものです。

また、白髪一雄画伯の絵は、世界70か国に2万4千店舗を展開しているスターバックスコーヒーカンパニーのCEOの社長室にもかけられているそうです。

こうした高い評価を受けている白髪画伯の絵を、加西市が2点も所有していることは、市民の誇りであり、素晴らしい貴重な芸術文化資源に恵まれているのです。地方創生の時代、各市町が持つ貴重な資源を有効に活用して地域を盛り上げなければ置いていかれる時代です。

上越市では、市民団体が市民から浄財を募り、上杉謙信公の愛刀「山鳥毛一文字」を3億2千万円で買い戻そうと活動されています。市のシンボルとして、地域おこしをするためです。

それに反して、加西市では貴重な芸術文化資源を「地域おこし」に有効に利用することを考えずに、みすみすオークションで売り払おうとする本当の理由と換金後の充当先をお尋ねします。

**答** 庁舎の美術倉庫では十分な管理ができず劣化が激しいので、今後の劣化の進行も予測し、今が一番国内外を通じてより多くの方々に、絵の価値を見ていただきたいということで、売却することにしたものです。そして、今回の売却益を何か特定のものの財源に使うということを想定して行うものではございません。

**問** 管理は十分であったか。

**答** 美術品専用の湿度も含めた管理はできていませんでした。

# 河川堤防の除草作業について

一般質問



松尾 幸宏 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 加古川支流の堤防はその町の方が、除草などの奉仕作業をされているが、重労働の上、マムシや蜂による被害もある。加えて近年高齢者世帯がふえて人員の確保も困難となり、自費で業者に一部委託するなど、各町大変苦勞していると聞かすが、その現状について。

**答** 兵庫県と加西市で河川環境美化事業として、「市街地河川を守る会」の8つの自治会に、堆積物やごみの撤去、草刈り等を

お願いしています。また、「河川を守る会」の69町に、調整区域内の河川の堤防の草刈りを中心とした作業をお願いしています。そして、兵庫県のアドプト制度により3団体が堤防の桜の剪定や草刈りをされており、この3つの組織をもって市内15の河川、総延長70キロメートルの管理をお願いしています。

**問** 各自治会に手当てされている補助金は十分ではなく、また、作業者の高齢化をはじめ、自治会によって作業難度の違いがあり、単に延長で算出される補助金では不満を感じるなど様々な問題があると思われるが、加西市としての対応策をお聞きしたい。

**答** 補助金は平成27年度決算で総額810万円となっています。内訳は、市街地河川を守る

会に定額50万円。河川を守る会69町に対して、660万円と除草剤（74万円余）の提供と全町傷害保険に加入しています。

補助金の増額によって、一部民間委託や、機械化で対応したいという要望もいただいております。今後の課題として対応したいと考えています。

また、各地域により法面状況等の条件が異なるため、負担軽減につながる体制づくりや、近隣同士・法人化された営農組合との協力体制等の提案も含めて地元との協議を進めていきたいと考えています。

## ■その他の質問項目

・市内小中学校の生徒数の推移について



## 中心市街地のまちづくりについて

### 一般質問



中右 憲利 議員  
(21 政会)

**問** ビジネスホテル誘致に伴う北条旧商店街活性化の方策について。

**答** 本年度は地方創生加速化交付金を活用し、北条旧市街地町屋くらし再生塾を開催し、地域の方々、有識者に参加いただいでビジョンの取りまとめを行っています。今後良好な住居環境と町屋を活用したにぎわいの実現に向けて、人づくり、魅力づくり、空き家を活用した空間づくり、情報発信などビジョンの具体化を図っていきたくと考えています。

**問** 三井住友銀行から住吉神社を経て五百羅漢に至る通りは周囲を見ながら歩くにはいい通りだと思う。できれば通りを雰囲気のある舗装にして、家や商店の隅を借りて素人さんが作ったような個性的な石仏などを置かせていただき、「石仏通り」「歴史通り」というような名前をつけるというのはいかがか。

**答** 今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

**問** 北条栗田線を活性化するための旧加西市庁舎の活用方法について。

**答** 耐震性等を考えるとリニューアルは難しいと考えており、北条旧市街地活性化事業や行財政改革の観点から、跡地を更地にして何らの民間活用ができればと考えています。

**問** テナント入居を含むアスティアかさいの活性化について。

**答** (副市長) テナントを必死になって探しています。現在、入居経費はイオンの6割程度に抑えています。来年度から内部の管理体制のコスト削減を図ることも考えています。定期的なフリーマーケットや北条鉄道と絡めたイベントの開催、また、イオンのようにコープとしての宣伝をすることで人を呼び込むことを考えています。今後、商工会議所が入り、ホテルの建設によって状況は変わるとは思いますが、市としても前向きに精力的に取り組んでいきます。

#### ■その他の質問項目

- ・人口増施策について
- ・公共交通について

## 市民の健康づくりについて

### 一般質問



衣笠 利則 議員  
(21 政会)

**問** 市民の健康診断受診状況について。

**答** 国民健康保険での取り組み状況は、平成22年からの5年間で1%しかふえていませんが、日頃より通院されている方も多く、あえて健診を受ける方が少なくなっています。

受診率向上に向けては、加西市老人クラブ連合会の協力も得ながら取り組んでいるところです。

**問** 歩くまちづくり条例制定後の状況と、早朝・夕暮れ時

の歩行者の安全策について。

**答** 27年度には運動体験会、ウォーキング教室等の開催、そして、運動ポイント事業も立ち上げ、市民の方々の健康増進を図りながら、普及啓発に取り組んできたところです。

安全面では、運動指導員が向いて、正しいウォーキングの仕方やコースなども指導しており、今後も地域の方々と相談をしながらウォーキングコースの設定をしたいと考えています。

また、大手スーパーには、タッチスタンドの設置と健幸ポイント事業にご協力をいただいています。タッチスタンドによるポイントの累積は市民の関心も高く、スタートから1カ月の参加者数は実人数で約2,500名あり、1日の平均利用者数は600名程度になっています。

**問** ラジオ体操の推進について。

**答** ラジオ体操におけるまちづくりとして、著作権の承認を得て、播州弁によるラジオ体操のCDとDVDを作成しています。また、大谷武一氏の生誕の地でもあることから、PR看板の設置についても実現に向けて進めていきたいと考えています。

#### ■その他の質問項目

- ・空き家対策特別措置法について
  - 空き家の現在の状況と入居の条件について
  - 市条例による、販売業者との連携について
  - 地域（自治会）との空き家の管理体制はできているか

# 幼保一体化について

## 一般質問



深田 真史 議員

(加西の新しい未来を創る政策研究会)

**問** 加西市の幼保一体化計画について。

**答** 平成 29 年 4 月に別府・九会両幼児園を統合し、加西こども園を開園。平成 30 年 4 月に北条幼稚園と北条西保育所を統合、(仮称)北条西こども園が開園予定です。泉地区でも協議会を立ち上げ、協議を進めています。5 園を集約し、平成 31 年 4 月に(仮称)泉こども園の開設を提案しています。

**問** 加西こども園への統合に当たり、保護者や地区からの関心・要望事項は、①スモック・体操服の購入、②通園バスの導入、③幼小連携、の 3 点であった。

特に、保護者や地区からも通園バス導入の要望が出ているが、教育委員会は「バスを出さない」との説明を繰り返してきた。一方、泉地区の議論では通園バス導入を検討していると聞いているが、いかがか。

**答** 泉地区は東西に広く、協議会でバスの可能性を話しています。保護者アンケートの結果を分析し、慎重に考えていきたいと思えます。

**意見** 泉地区はバス導入を検討し、加西地区はバスを出さないのは筋が通らない。加西地区の議論

では「距離は遠くなるがそれ以上に保護者による送迎が子供たちのために望ましい」と言っている。これに矛盾する。

また、市長は 11 小学校存続を打ち出している以上、幼小交流にも十分な配慮が必要だ。これが「子育て支援の充実」を掲げている加西市なのか非常に疑問。開園まで 3 カ月ある。再度、地区や保護者と話をすべきだ。

### ■その他の質問項目

- ・ 地区集会施設について
- ・ 地域主体型交通について
- ・ 防犯カメラについて
- ・ 財産管理について
- ・ ホテル建設について

# 自然災害及び河川の土砂堆積対策について

## 一般質問



原田 久夫 議員

(21 政会)

### 気象観測機器の設置状況について

**問** 災害時の判断には、風速、雨量、河川の水位情報が重要である。兵庫県河川管理システムによって、下里川、万願寺川、普光寺川の水位は県 HP 上でリアルタイムに確認できるが、風速・雨量についてはどうか。

**答** 河川以外の雨量計は、国と県によって北条地区 2 基、中野地区 1 基が設置されており、10 分単位で情報を確認することができますが、それ以外の地域における、よりきめ細かな雨量の観測環境までは整っていません。

### 気象観測器の設置計画について

**問** 昔は何百万円もする高価な総合気象観測器が必要だったが、現在は小型で安価な装置が開発されており、ピンポイントで詳細な状況把握が可能となるため住民にも好評で、県内でも山間部を中心に導入が進んでいる。加西市における設置計画について。

**答** 現在は、隣接市町の雨量計、気象レーダー、人工衛星、雲のかかり方等から予測して対応していますが、小型気象計の導入状況にも注視しており、前向きに検討していきたいと考えています。

### 下里川及び万願寺川下流土砂堆積除去について

**問** 河川内に土砂と樹木の堆積が多く見られる。また、合流地点の水門 2 カ所の排水が慢性的にうまくいかず、少量の雨でも堆積し、豪雨になれば毎年のよう

に周囲の田が 2 町程度浸かってしまう状況である。浚渫工事を含む今後の対策について。

**答** 9 月に県土木と調査を行った結果、河川内の流水を大きく阻害する樹木は今年度中に、そして、河川内の樹木は、流水を著しく阻害し、倒木・流出した場合に下流の橋梁等に影響を及ぼすため、できるだけ早く撤去したいとの回答を得ています。

一方、水門付近の部分的な浚渫については難しいとの回答があり、今後地元と協働しながら防災対策を講じていきたいと考えています。

### ■その他の質問項目

- ・ 自然災害への対策について
  - 平成 28 年の自然災害発生状況について
  - 平成 28 年の災害箇所対応について
  - 防災機関の配備態勢判断基準について
- ・ 河川の土砂堆積対策について
  - 河川の現状と管理状況について

# 中小企業の振興について

## 一般質問



井上 芳弘 議員  
(日本共産党)

**問** 中小企業の振興計画について、地域産業の基礎調査や企業に対するアンケート調査は進んでいるのか。

**答** 加西市産業振興計画については、骨子案を策定したところです。

内容は、国勢調査や経済センサスなどの公的データ、兵庫県立大学が作成した加西市の産業連関表、地域経済分析システム、市内事業者約 2,000 社に対するアンケート調査、事業者へのヒアリング調査など、さまざまなデータを

多面的に用いて分析しています。それにより、加西市の産業構造をあらわにし、強みや弱み、課題などを分析した上で、施策として取り組むべき方向性を定めています。また、策定の体制は、学識経験者、商工会議所、各種団体代表者で構成し、意見を聴取するために産業振興会議を開催していません。

**問** 2,000 事業者を対象にしたアンケート調査は、どの程度回収できたのか。

**答** <sup>しっかい</sup> 悉皆調査は法人、個人問わず実施しており、現在の有効回収数は 625 社、回収率にして約 30%となっています。

**問** 一時より事業者数は減ってきたものの、加西市の中小企業は製造業を中心に大きな実績を上げてきた。これを機に、異業

種の連携も含め、新たな事業発展のはずみとなる計画の策定をお願いしたい。

関連して、中小企業振興条例の制定状況について。

**答** 加西市産業基本計画の策定にあわせ、基本条例の制定を検討しています。

内容は、産業振興に関する基本理念、基本方針、事業者の役割や市の責務などを定め、それぞれの連携や協働について明記したいと考えています。加西市産業振興計画の策定にあわせて、3月議会には条例案を上程したいと考えています。

### ■その他の質問項目

- ・加西市文書取扱規定について
- ・財政について
- ・若者定住、子育て支援について
- ・「泉こども園」の提起について

# 児童生徒のいじめ等について

## 一般質問



織部 徹 議員  
(21 国会)

**問** 近年教育上の大きな問題としていじめの問題があります。中学生の自殺後に背景を調査すると、いじめがあったとするメモやノートが見つかったりと、いじめによる自殺が後を絶ちません。また、最近では、横浜で福島県からの転校生をいじめたという事件がありました。

そこで、加西市における、いじめ及び不登校の件数についてお聞きしたい。

**答** いじめの件数は、平成 27 年度は小学校 9 件、中学校 6 件、平成 28 年度 11 月末現在で小学校 2 件、中学校 15 件です。

また、不登校については、平成 27 年度は小学生 5 名、中学生 44 名、平成 28 年度 11 月末現在で小学生 3 名、中学生 37 名となっており、昨年度同時期に比べて、若干減少しています。

**問** 不登校者数の算定規定と、現在の保健室登校・適応教室出席者と不登校者数について。

**答** 文部科学省による不登校の定義では、年間 30 日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いた者と規定されています。

一方、保健室登校、適応教室に通室した日数は出席に数えられ、

現在の適応教室出席者は 12 名、その全てが中学生となっています。また、いじめの重大事態による不登校はありません。

**問** 「ゼロ歳から 15 歳までの一貫教育」、「いじめがない学校、加西」をキャッチフレーズにイメージアップを図れば、親も子も安心して転校してきてくれるのではないと思うが、いかがか。

**答** いじめや不登校がないのは強力な教育の売りにもなります。加西の教育の強みとして伸ばしていけるよう、しっかり取り組んでいきたいと考えています。

### ■その他の質問項目

- ・総合教育センターの施設について



## 地域の活性化について

### 一般質問



土本 昌幸 議員  
(公明党)

**問** 平成30年3月に念願のビジネスホテルが開業予定の運びとなりました。当市にとっても非常に大きなチャンスになるため、最大限に生かすことが大切であると考えます。そのためには、道路を含めた周辺の整備や、北条鉄道、イオンモール、ゴルフ場、姫路市をはじめとする連携中枢都市圏との連携にも取り組む必要があります。現在検討されている内容についてお聞かせください。

**答** 加西市としてもホテル誘致を契機ととらえ、観光客や宿泊者の増加につなげたいと考えています。

11月末にビジネスホテル関係者と加西市担当部局で、加西市の観光ホームページにおける宿泊情報の利便性向上、イベント情報の共有、そして、パンフレットやお土産品の設置等について意見交換を行ったところです。

また今後、地域経済の活性化につながるよう、ホテル周辺の飲食店や土産物店の情報、具体的なモデルコースを含む、加西市の観光地や北条鉄道を利用した観光等についても、情報提供していきたいと考えています。

さらに、宿泊者がゴルフ場や観光地を利用する場合に、料金が少しお得になるパック料金等についても今後調整していきたいと考えています。

**問** 不断の取り組みを続けるためには、地元の方の協力が不可欠です。地域の皆さんに楽しみながら、ある意味主体的に取り組んでいただくことが重要ですが、市としてもしっかりとしたサポートが欠かせません。その点についての考えをお聞かせください。

**答** 現在、北条の町並みを生かしていこうと、市民の皆様を含めたいろんなワークショップを開催しているところです。今後も、地元の協力が不可欠であると十分踏まえながら、まちづくりを進めていきたいと考えています。

#### ■その他の質問項目

- ・安全・安心のまちづくり
- ・日照権と建築制限について
- ・教育問題について

## 市制施行 50 周年について

### 一般質問



丸岡 弘満 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 関係者から自衛隊観閲行進について聞こえてきたが、実施の予定は。

**答** 庁内で検討委員会を設置し議論しましたが、今回は見送ることになりました。

**要望** これからも、市が20年、30年とたく長く延びていくように「うどんのギネス挑戦」、鷗野飛行場跡地を使った「ドローン世界大会」、青野運動公園で北播・県規模の「グラウンドゴルフ大会」、オリンピックを目指す子供を育成する「スケートボード大会」等、今のキャッチコピー募集だけな

く、未来を背負っていく若者たちの夢や希望がある事業を募集実施してほしい。

#### 県道・市道について

**問** 今後の予定と工事の進捗状況について。

**答** 野上河高線は、道路拡幅の要望を関係地区区長の連名で県へ提出しており、市としても引き続き要望したいと考えています。下滝野市川線の和泉交差点から東の馬橋までは平成32年度完成、別所交差点は平成29年度事業完了を目標に順調に進んでいます。

また、満久町から要望のあった停止線とカーブミラーの設置は、警察署との協議を現在行っているところです。

**問** 市道河内野上線の状態が非常に悪い。今後の予定は。

**答** 外側線と中央線が消え、横断するにも危険な状態であるため、29年度早々に整備したいと考えています。

#### 防犯対策（防犯灯、防犯カメラ）について

**問** 県・市の補助だけではなく、民間企業やNPOの取り組み等を利用して増やしてはどうか。

**答** 集落や通学路にも手が回っておりません。その中で、玉野町宮農組合が非常に先駆的な取り組みをされており、これらの情報も含めて収集し、行政としてできる範囲の中で対応していきたいと考えています。

#### ■その他の質問項目

- ・農林業・産業振興について
- ・教育について

上程された議案は、それぞれ所管の総務委員会と建設経済厚生委員会に付託し、審議を行いました。

## 施設利用料

議案第 68 号 加西市体育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について **総務**

ぜんぼうグリーンパークの施設整備による利用者の増加に伴い、受益者負担の観点から料金設定するもの。(H29.4～)

グラウンド半面	400 円 / 時間
グラウンド全面	800 円 / 時間

※ただし、減免措置あり

## 給与改定

議案第 69 号 特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について **総務**

人事院勧告に準じ、特別職及び一般職の給料・手当を下記のとおり改正し、また、国における勤務時間法の改正に準じて、介護休暇の分割取得及び介護時間を新設するもの。

【特別職】 期末手当 0.1 カ月の引き上げ

【一般職】 勤勉手当 0.1 カ月の引き上げ  
若年層に重点を置いた給料表水準の引き上げ

**問** 人事院勧告に基づいて給与改定する理由について。

**答** 職員給与は、地方公務員法に、『生計費ならびに国および他の地方公共団体の職員、並びに民間事業の従事者の給与その他の事情を考慮して定められなければならない』と規定されています。

人事院勧告は民間給与を反映したものであり、これに基づくことが国に準じ、また、他の地方公共団体との均衡を図ることになるため、本市においても準じたいと考えます。

**討論【反対】** 一般職については総合計画でも示されており、同時に地域のベースアップにつながるため重要であるが、一方、特別職の見直しについては、議員分をも同時に引き上げることになる。事業の見直しも検討が必要であると言われる財政状況のなか、単に人事院勧告に準じるというわけにはいかない。

## 加西こども園

議案第 72 号 加西市認定こども園「加西こども園」設置に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について **総務**

九会幼児園（九会保育園及び九会幼稚園）と別府幼児園（別府保育園及び富合幼稚園）を統合し、「加西こども園」を開園（H29.4.1）しようとするもの。

**問** 幼児園から認定こども園になることで、利用者負担や保育・教育の内容にどのような変化があるのか。

**答** 利用料金は幼児園と同じ料金表を使用するため負担増にはなりません。

また、加西市の教諭は保育所及び幼稚園資格の両方を保持しており、統合で集約されることによって、それぞれの専門性を高めたチームづくりがなされ、より保育・教育の環境が整うと考えています。

**討論【賛成】** 地域の声に耳を傾け、安心して子供を預けられる魅力ある園にしてほしい。また、統合による集団生活から、小学校入学時に再度分散されてしまうことが、子供への悪影響とならないよう、留意してほしい。

## 財産処分

議案第 74 号 財産の処分について **総務**

平成元年に購入した絵画「タジカラ男」(白髪一雄画伯作)を売却しようとするもの。

**問** オークションによる売却という結論に至った経緯について。

**答** 庁舎内倉庫での保管は、美術品にとって重要な湿度を一定に保つことが難しく、今後も劣化が進みます。

また、寄託するには、まず相当な費用をかけた修復が必要です。そして、候補である尼崎市総合文化センター・白髪一雄記念室には、既に 4,000 点が保有されており、マッチングの難しさがあります。

最後に、平成元年の購入当時から、市民ニーズや財政状況も変化しています。美術館構想が白紙となっている今、作品の維持にコストをかけ続けることは市民感覚的にも受け入れがたく、活用方法を見直す時期に来ていると考えます。作品が評価されている今、作品に光を当て、価値を発揮できるように売却の結論に至りました。



## 継続審査の申し出

委員から現段階での決断は時期尚早であり、しっかりと手段と議論を尽くすために、継続審査の申し出がありました。賛成少数により12月議会中に議決する方針となりました。



**討論【反対】** 芸術作品を取得した背景には、市民に鑑賞していただき、素養を深め、文化基盤を築こうとする趣旨があったものと思われる。評価の高い作品を海外流出させたり、一部の収集家に渡すのではなく、寄託を含めて、まず、市民・県民・国民に鑑賞してもらう機会をつくる努力をすべきである。例えば130万円で購入したものが、2,000万円で売れたとしても、加西市の文化発展に対して逆効果にならないかと危惧する。

また、国際的に評価の高い絵画を加西市が保有しているのは誇りであり、未来を担う子供たちの情操教育や、地域おこしに利用する方が将来にわたって有益である。

**討論【賛成】** しっかりと管理のもとで、作品を世に残していくことが大切であり、そのためにオークションという判断は正しい。現時点で、加西市に残すための修復と保管の手立てや費用についての解決策を持たないまま、保有し続けるのは問題である。価値ある状態で美術品を役立てようとするのは行政として賢明な判断である。

## 補正予算

議案第75号 平成28年度加西市一般会計補正予算(第3号)について

総務建設

【歳入】

- ・基金費寄附金(1億円)

【歳出】

- ・老人福祉費(656万4,000円)

**問** ふるさと納税の充当先について。

**答** 保育料無料化に7,800万円を充当していますが、今後、恒常的な施策に充当するのは改めていきたいと考えています。

一方、子育て支援や教育環境については、現在、寄附金の使途アンケート結果によると、3分の1が子育て支援や教育環境、そして、さらに3分の1が市に任せるとなっていることから、今後も充当していきたいと考えています。



**問** 全40社200品種の返礼品のうち、ふるさと納税者の9割以上が一部の商品のみを希望している。様々な商品のアピールや、希望が商品全体に行き渡るような配慮は業務委託に含まれているか。

**答** あくまで全体的な包括委託であり、企業ごとの特別な対応をお願いしているものではありません。



**要望** 一部企業の応援といったことにならないよう、広く効果が出るように努めていただきたい。

議案第77号 平成28年度加西市介護保険特別会計補正予算(第2号)について **建設**

**問** 保険給付費の増減について。

**答** 介護予防・日常生活支援総合事業が始まった10月から、介護予防の通所介護と訪問介護が全て移行すると考えていましたが、順次移行していくことになったため、不足額について保険給付費内での組みかえにより対応することにしました。



議案第78号 平成28年度加西市農業共済事業会計補正予算(第1号)について **建設**

**問** 家畜勘定と業務勘定の留保資金を、家畜共済金の増加による不足額に充てるのは、一時的な対応で済むのか。

**答** 平成29年度は3年に1度の料率改定があり、掛金率が上がることで収入がふえます。また、原因を調べて対策を講じることで事故の減少が見込めることから、今後は不足金が解消していくと考えています。



議案第79号 平成28年度加西市下水道事業会計補正予算(第1号)について **建設**

**問** 総務省からの要請を受け、下水道事業の中長期的な経営戦略をたてるために500万円補正されているが、委託でなければならないのか。

**答** 国からの財政措置が受けられることもあり、自前で作成するのは若干で、ほとんどの自治体では委託となっています。

**問** 中長期的な経営戦略と、現在ある経営計画等のかかりについて。

**答** 策定済みであるアセットマネジメント(将来的な資産管理)を基にして経営戦略を立てるとともに、小規模処理施設(コミュニティプラント・農業集排水施設)の統廃合を計画に基づいて順次進め、効率的な経営を目指したいと考えています。

# 討 論

討論とは、表決の前に賛成か反対かの自己の意見を表明することです。(発言順に掲載)

## 議案第 74 号 財産の処分について

可決 (賛成8、反対6)

評価の高い絵画を所蔵しながら、鑑賞の機会を設けないなど考えられない。加西市は、播磨国風土記関連の数々のイベントで、文化の薫り高い市と評価をいただき、北条鉄道の駅に絵画の展示もしている。絵画の売却などせず、市制 50 周年を迎えるに際し、市民の皆さんに鑑賞していただく場を設けてはどうか。

反対



黒田秀一 議員



長田謙一 議員

賛成

作品は保管しているだけでは宝の持ち腐れであり、人の目に触れてこそ価値がある。オークションに出品し、より多くの方々の目に届くことを希望する。また、保管状態が悪ければその価値も下がってしまうため、今後、所蔵作品の管理をしっかりと行い、展示をローテーションさせるなど、ぜひ市民の目を楽しませていただきたい。

芸術・文化の薫り高い市民生活を創出すると総合計画で打ち出している以上、所蔵絵画について詳細な調査がないまま「タジカラ男」1点のみ競売にかけるのは、審議として拙速に過ぎる。また、加西市の文化政策の一貫性と継続性にかかわる重要な事柄でもあるため、継続審査とすべきだ。

反対



深田真史 議員

評価の高まっている作品をオークションにかけて海外に散逸させるというのは、自治体の役割としてあってはならない。また、美術館等に保管の協力を求める努力はまだ不十分であり、寄託を含めた議論が必要ではなかったか。継続審査ができないとなれば、やはり反対せざるを得ない。

反対



井上芳弘 議員

加西市を愛し誇りに思っしてほしいと声高に叫んでいるのに、その宝物をみずから喪失しようとしている。住民をふやす能力もなく、おまけに芸術文化価値に暗い加西市が、財政難で絵画を売りに出したと吹聴されないように、議案は取り下げるほうが賢明である。専門家から管理方法の教えを請うこともせず、寄託の動きも十分でないまま、オークションありきの提案は言語道断である。

反対



植田通孝 議員



中右憲利 議員

賛成

購入時と今では、美術館構想もなくなり目指す方向が違ってきている。倉庫に眠らせるのでは意味がない。この絵の値打ちがわかる人が所有できるようにすべき。加西市が所有する他の絵画も、展示等の用途が考えられるものを除いて売却できるものは順次売却し、新しい活躍の場をつくるとともに、その収益を今後の新しい芸術振興事業の財源とすべきである。



森元清蔵 議員

賛成

作品を劣化させず、絵の価値を本当に理解できる方に広く見てもらうことが重要であり、加西市での管理が限界に来ている今、オークションは賢明な判断である。加西市が所蔵する残り 290 点の作品についても、市民が鑑賞しながら文化的な水準を高めていけるよう、利用方法について検討していかなければならない。

作品の価値を生かすためには、過去の経緯や絵画に精通する参考人を交えて議論し、執行者側と議会が一体となって、真の価値がわかる寄託先を探すことこそが最良の策である。

評価の高い絵画を手放すことをはじめ、美術品の保管方法、文化行政との不整合性には疑問が残り、売却とするにはまだまだ審議が不十分である。

反対



丸岡弘満 議員

## 第263回 加西市定例会議決結果一覧

平成28年12月1日～12月21日

### ■賛否の分かれた議案（採決順に掲載）

○…賛成 ×…反対

議案	深田真史	丸岡弘満	原田久夫	中右憲利	長田謙一	衣笠利則	松尾幸宏	植田通孝	黒田秀一	井上芳弘	三宅利弘	森元清蔵	織部徹	森田博美	土本昌幸	議決結果
議案第74号を総務常任委員会に再付託し、閉会中の継続審査とする動議	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	議長	×	×	×	×	原案否決 (賛6、反8)
<b>議案第69号</b> 特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
<b>議案第74号</b> 財産の処分について	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	議長	○	○	○	○	原案可決 (賛8、反6)
<b>議案第75号</b> 平成28年度加西市一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)

### ■全会一致で適任と答申、可決した議案

諮問第10号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

議案第68号 加西市体育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第70号 加西市税条例等の一部を改正する条例の制定について

議案第71号 加西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第72号 加西市認定こども園「加西こども園」設置に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

議案第73号 加西市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第76号 平成28年度加西市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

議案第77号 平成28年度加西市介護保険特別会計補正予算(第2号)について

議案第78号 平成28年度加西市農業共済事業会計補正予算(第1号)について

議案第79号 平成28年度加西市下水道事業会計補正予算(第1号)について



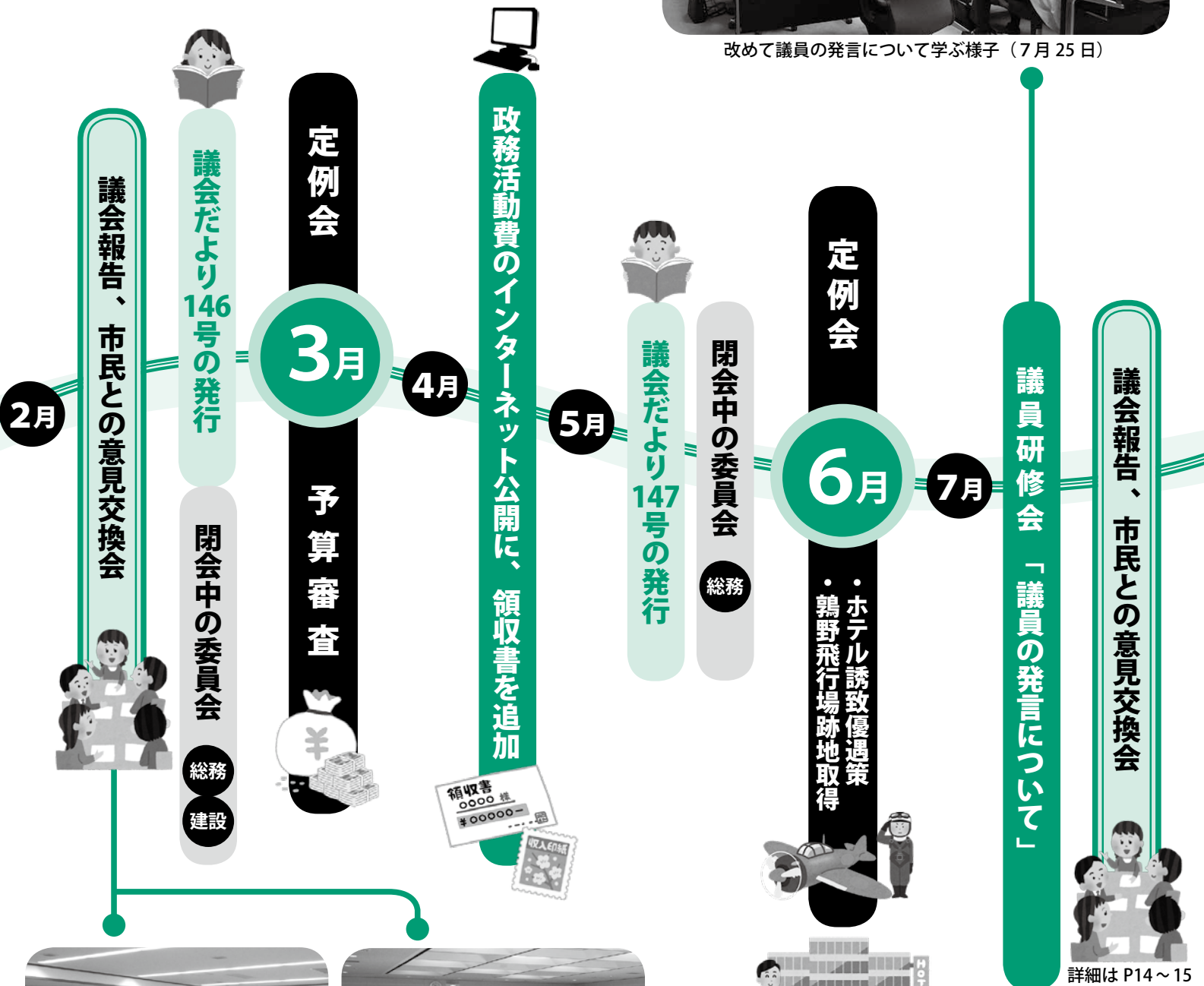
# 平成 28 年・加西市議会の取り組み

平成 28 年には年 4 回の定例会（3・6・9・12 月）をはじめ、市内団体との意見交換会、「加西市手話言語条例」制定に向けた初の政策検討会を実施しました。

また、総務委員会と建設経済厚生委員会は、新たな試みとして 1 年間のテーマを設定し、政策提言に向けて活動しています。



改めて議員の発言について学ぶ様子（7月25日）



在田地区ふるさと創造会議（2月12日）



老人クラブ連合会（2月15日）



詳細は P14～15

# 政策検討会

加西市手話言語条例の制定を目指して



関係者からの意見聴取（8月29日）



市内高校生に議会だよりを配布開始



議会だより148号の発行

常任委員会・行政視察

定例会

9月

決算審査

10月

議会報告、市民との意見交換会



詳細は P14 ~ 15



議会だより149号の発行

閉会中の委員会

総務  
建設

救急救命講習



定例会

12月

・絵画の競売  
・職員の給与改定



心肺蘇生法・AEDの使用方法について学ぶ様子  
(11月15日)



## 議会報告・市民との意見交換会

加西市議会では、年2回「市民との意見交換会」を実施しています。平成28年度は4団体を対象に開催し、次のような意見が述べられました。

7/26

### 加西商工会議所青年部



- 加西市歩くまちづくり条例を制定しているが、今後、歩きやすい歩道や自転車道の整備計画はあるのか。  
→歩道設置は要望が多く、議会からも行政側に訴えています。自転車道の整備は難しいと考えます。
- なかなか人口減少を食い止めてもらえていないが、市の考え方について。  
→財政的な課題もあり大きな支援はできないが、出会いの場の創出、規制緩和による住宅建設、保育

料無料化、中学校給食の完全実施、産業団地の整備等の施策を実施しており、若い世代の流出防止に努めたいと考えています。



- ふるさと納税は返礼品の充実によって大幅に増加したが、高額な返礼品については見直されると聞く。今後の対応について。  
→平成27年度は約2億円のふるさと納税がありました。総務省の通知を受けて高額返礼品を見直し、上限を100万円から30万円としています。今後も返礼品の充実に向けて協力していただきたい。
- 望む場所に家を建てられないことや水道代を理由に、結婚しても市内に住まない。また、加西市は車がないと生活できないうえに、若い世代が遊ぶ場所もなく住みたくないと思われる。人口流出を防いでほしい。
- 「加西市は道が汚い」と市外からの声を聞く。きちんと整備してほしい。
- 近隣で実施している小中一貫教育も検討してはどうか。
- 加西病院の小児科がなくならないようにしてほしい。

7/27

### 加西市女性団体連絡会

- 妊産婦への継続した子育て支援が大切であるとともに、男性の育児休暇活用など父親の子育て参加は欠かせない。悩みを抱える妊産婦を孤立させない地域全体での取り組みやシステムを作ることが重要である。  
→出産から子育ての継続した支援は行政の重要な役割です。少子化と労働力不足の課題も行政や企業の育児支援による女性の働きやすい社会をつくるのが大切と考えています。
- 世界的にも日本男性は家事参加が少なく、女性の負担軽減についてみんなで考える必要がある。また、老後の介護について、8割の男性は妻や家族が見てくれると考えているそうだが、それは幻想である。男性の独居、介護、認知症は重大な問題であり、生きる術としても男性の家事参加は課題である。
- 人口増は困難な課題だが、高齢者や女性のパワーを活用することが重要だ。健康寿命を保っている地域や、女性が活躍している先進地事例を視察し加西市に反映してほしい。

→地域を担ってきた経験や知恵を次世代に引き継いでいくことが大切と考えています。



- 4、5歳児の保育料が無料になったが、就業の証明等が必要で、下に子どもがある場合に利用しにくい。少子化で園児も減るなか改善できないのか。また、高校の広域化が進められているが、交通の便が悪いことが通学の障害になっているのではないか。  
→入園手続きの簡素化は、必要性を確認した上で、改善の提案ができるか検討したいと思います。交通については、北条駅～高校間や西脇からのバス運行など改善されつつあります。





10/26

## 加西市代表農会長会

- 今の鳥獣対策では、柵をしてイノシシを育てることにしかない。金網柵に補助金を出すよりも、猟友会と協力して一網打尽にする方法を考えてほしい。
- また、ジビエ料理では個体数は減らないため、多可町 cambio のような施設ができればと思う。  
→建設経済厚生委員会でも視察に行き、cambio と同じような施設や、他地域の猟友会に捕獲してもらうことも良い方法ではないかと考えています。
- 水稻と動物被害の共済の両方に入っているが、水稻共済に全て加入していないと動物被害の補償がされないため、分離できないのかと思う。



○ジャンボタニシの被害がまた出ている。対策をお願いしたい。



○加西市北部は段々畑が多く、法面が2、3mあり草刈も大変である。中山間地指定を受けることはできないのか。

→指定には面積の規定があり難しいと考えます。

○空き家に大阪からの移住があったが、宅地は所有者移転できても、農地は農業適格者に該当せず取得できない。定住したい人に対して農地法の緩和はできないのか。

→空き家対策の一環として、加西市でも17アールから農地を取得できるようになりました。農業適格者も30アールからもう少し下げてもいいのではないかと考えているところです。

○農地の宅地化ができればと思うが、転用も認めてもらえない。そのため、人が流出してしまう。優良農地を確保しても後継者がいないため、線引きを見直すべきだ。

→農地の宅地化は建設経済厚生委員会でも研究していますが、農振法・農地法があるため特別指定区域を活用して進めるしかなく、難しいところです。

10/27

## 加西市防犯協会 加西市青少年補導委員連絡協議会



○防犯カメラの設置場所について。

→平成27年度にハイツ第一交差点、谷交差点に設置しており、28年度には古坂交差点、北条交番前交差点、中野交差点、三口交差点、フラワーセンター前交差点、満久交差点、網引交差点、宇仁小学校西交差点、西在田小学校前交差点を予定しています。

○朝妻工業団地内の防犯カメラの設置について、依頼後の回答がないとのことだが。

→県の補助メニューを活用しているため、県の予算関係や、県下全域から要望が集中するため、時間を要する場合があります。担当課へ問い合わせをしていただければと思います。

○防犯カメラを一台つけるだけでも大きな抑止力になる。他の支出よりも大事ではないか。

○防犯灯はブルーライトに犯罪抑止効果があるといわれていたが、LED化の理由について。

→青色防犯灯の犯罪抑止効果については、科学的には証明されていません。同じワット数ではLEDの方が明るいため、節電とあわせて採用されています。

○防犯灯設置の流れや要する期間について。

→危機管理課への申請によって、一般的には約60mの間隔で設置されます。交差点や見通しの悪い場所などに年間50～70灯設置されています。また、県道の場合は、県への申請や関電との調整に時間を要する場合もあり、遅れている場合は、担当課へ設置時期などをご確認いただければと思います。

○補導委員連絡協議会の活動は限界にきており、関係団体の整理統合の検討も必要ではないか。各団体の活動状況を確認してほしい。



# 市議会トピックス

## ■ 議会だより・第150号発行までの歩み

創刊号



昭和53年4月発行

No.50



平成4年1月発行

No.100



平成16年7月発行

## ■ 平成29年3月 加西市議会定例会の予定

WEB

月 日	時間	会 議
2月27日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (提案説明等)
3月1日(水)	15:00	発言通告期限 (質疑・一般質問) WEB
3月8日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (質疑・一般質問)
3月9日(木)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (一般質問)
3月10日(金)	13:30	本会議 (予備日)
3月13日(月)	9:00	総務委員会 (議案審査・予算審査)
3月14日(火)	9:00	建設経済厚生委員会 (議案審査・予算審査)
3月15日(水)	9:00	建設経済厚生委員会 (予算審査)
3月16日(木)	9:00	総務委員会 (予備日)
3月22日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (最終日: 委員長報告・採決)

ぜひ傍聴にお越しください!



インターネット  
議会中継  
(ライブ・録画)

加西市議会

検索



発行 加西市議会  
編集 議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾 1000  
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810  
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 中右憲利  
委員 織部 徹  
委員 原田久夫

副委員長 深田真史  
委員 黒田秀一  
委員 丸岡弘満